

ホームページのご案内



株式会社ベルパークのホームページでは、会社概要や投資家情報など、当社に関する様々なコンテンツをご用意しております。

トップページ <http://www.bellpark.co.jp>

IRページ <http://www.bellpark.co.jp/ir>

JASDAQ
Listed Company 9441

Bell-Park



2010.1.1-2010.6.30 Bell-Park 18th Business Report



代表取締役社長 西川 猛

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、ベルパークの第18期第2四半期累計期間（2010年1月1日～2010年6月30日）の「ビジネスレポート」をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社が販売する携帯電話の電気通信事業者であるソフトバンクモバイルは、本年2月に開始した「ホワイト学割with家族2010」の駆け込み需要や「iPhone 3GS」、「iPhone 4」、デジタルフォトフレームの「Photo Vision」、データカード等の商品により新規販売は好調に推移いたしました。これらに加え、ソフトバンクモバイルは、電波改善宣言を推進し、電波改善の進捗状況を公開する等積極的な施策を展開いたしました。

このような事業環境の中で、当社はソフトバンクモバイルの積極的な施策が最大の効果を生むよう、ソフトバンクモバイルの求める施策を早期に販売現場に徹底させるとともに、新規販売と機種変更を合算した総販売台数を増加させるために、積極的な販売促進活動に取り組みました。また、当第2四半期累計期間におけるソフトバンクショップは、直営126店舗、フランチャイズ50店舗の合計176店舗で、1店舗の新規出店と好立地への移転を2店舗実施いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間における販売台数は、新規販売台数176,331台（前第2四半期累計期間比88.5%増）、機種変更台数124,024台（同16.5%増）、総販売台数300,355台（同50.2%増）となり、売上高は前第2四半期累計期間比で増加いたしました。一方では、ソフトバンクモバイルとの手数料条件が悪化したことに加え、1台当たりの利益率の低い「Photo Vision」の販売台数が前第2四半期累計期間の186台から当第2四半期累計期間は35,636台となり、総販売台数に占める割合が大幅に増加したため、総販売台数の伸びが売上総利益の増加に繋がりませんでした。また、前年6月以降にソフトバンクショップが大幅に増加したこと及び本年4月に119名の新卒者を採用する等積極的な人材投資を行ったことに伴い、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高28,638百万円（前第2四半期累計期間比41.3%増）、営業利益1,615百万円（同15.2%増）、経常利益1,615百万円（同16.0%増）、四半期純利益936百万円（同25.9%増）となりました。

携帯電話は、これからスマートフォンの時代を迎え、私は「モバイル・インターネットの進化」が急速に進むと予測します。当社は、「ケータイの販売代理店」から「モバイル・インターネットのコンシェルジュ集団」への進化を目指します。インフラ面では今の3G（第3世代携帯電話）から3.9G（※LTE）、つまり第4世代携帯電話の一手手前の高速サービスが間もなく始まります。また、より高速な無線LAN環境やコンテンツの充実がなされ、スマートフォンで雑誌や新聞を読んだり、授業を受けたり、仕事をしたり、放送を楽しんだりする時代はすぐそこに来ていると信じます。一方、携帯電話の販売業界は、これからも統合、買収、淘汰が起り、人材の質と生産性と財務に優る企業に大きなチャンスが来ると予測します。当社は、本業に邁進し、年度毎の収益をきちんと上げ続け、財務体質の一層の強化を行い、優秀な人材を育て、こうした大きなチャンスに備えたいと考えます。

株主・投資家の皆様には、何卒、変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2010年9月

※LTE（Long Term Evolution）：携帯電話の新たな通信規格

CONTENTS

株主の皆様へ	1
TOPICS	2
事業環境見通し	3
中期経営方針	4
事業所・店舗一覧	5
財務ハイライト	7
要約財務諸表	8
株式情報	9
会社概要等／株主メモ	10

■ 2010年新店出店・移転情報

2010年	1月	【新店】	アップルプレミアムリセラー吉祥寺ストア
	2月	【移転】	ソフトバンク佐倉白井
	3月	【新店】	ソフトバンクイオンモール新瑞橋
	5月	【移転】	ソフトバンク柏

当第2四半期累計期間中に、アップルプレミアムリセラー1店舗の新規出店、ソフトバンクショップ1店舗の新規出店並びに2店舗の移転を実施いたしました。



アップルプレミアムリセラー吉祥寺ストア



ソフトバンク柏

■ IR情報

アナリストカバレッジ

三菱UFJモルガン・スタンレー証券
マコーリーキャピタル証券
立花証券

当社のカバレッジを行っており、三菱UFJモルガン・スタンレー証券と立花証券は当社に対する定期的なレポートの発行を行っております。

企業レポート

シェアードリサーチ社が当社の企業レポートを発行しております。
URL:www.sharedresearch.jp

媒体掲載情報

2010年8月6日（金曜日）の日経MJ紙1面特集記事に当社運営のソフトバンク下北沢が掲載されました。



◆ 携帯電話市場の環境

国内の端末出荷台数が3,000万台程度で推移する中、フィーチャーフォン（従来型の端末）に加え、スマートフォンという新たなカテゴリーが創出され、主に海外メーカー製の端末が急速に普及しつつあります。

新規販売は、スマートフォンとデータ通信を主体とした端末等がさらに普及していくことが予想されます。機種変更は、割賦販売の導入前よりも、各キャリアの買い替えサイクルが長期化するとともに、解約率も1%前後で推移している模様です。しかしながら、割賦期間満了とともに、一定のサイクルで買い替えが発生しているものと考えられます。携帯電話のデバイスの進化により、高い処理能力を持った端末の開発が見込まれます。加えて、通信技術の発達により、通信速度がより速い第3世代携帯以降の端末への買い替え特需が起こることが予想されます。

（出典：電気通信事業者協会（TCA）データ、各電気通信事業者データより）



◆ ソフトバンクモバイルの動き

ソフトバンクモバイルは、モバイルインターネットを軸に加入者純増数を大きく伸ばしており、累積回線数では**2,200万件**を超えております。「iPhone 4」が6月24日に発売を開始し、供給が追いつかないほど予約が殺到しており、今後も依然として高い需要が続くものと考えております。

新規販売の需要動向

景気低迷による個人消費の落ち込み、携帯電話の高い普及率に加え、割賦販売の導入によるユーザーの囲い込み、革新的なサービスの登場がないことから、フィーチャーフォン（従来型の端末）については引き続き厳しい状況が続くと予想されます。そのような環境の中で、「iPhone 4」に代表されるスマートフォンやデータ通信を主体としたデータカード、「Photo Vision」等を中心に新たな需要の増加に期待が見込まれます。

機種変更の需要動向

フィーチャーフォンや「iPhone 3GS」を利用していたユーザーから、「iPhone 4」に代表されるスマートフォンへの新たな機種変更需要の増加が期待されます。

（出典：電気通信事業者協会（TCA）データ、各電気通信事業者データより）



◆ 販売代理店の動き

ソフトバンクショップの自然淘汰

ソフトバンクショップは、約2,700店舗まで急増しましたが、店舗間の競争と不透明な経済環境も大きく影響し、採算の厳しい店舗を中心に閉店や、店舗売却により大手販売代理店へ集約される等の結果、2,572店舗にまで減少しました（2010年6月末時点）。経済環境や手数料条件によっては、今後もこういった淘汰と合従連衡は続くと思われる。

販売手数料動向

販売代理店は、キャリアから次々と出される営業施策について、迅速かつ柔軟に対応していくことが求められております。キャリアからは、量（新規販売台数）と質（*ARPU向上等）に加えて、**CS（顧客満足度）向上**と各店舗の総合力強化を図るように求められております。

モバイルインターネットの進化とともに販売代理店に求められるものが高度化

販売代理店は、従来モデルからの転換を近い将来求められると予測しております。モバイルインターネットの進化により、スマートフォンの需要は増加することが期待されます。スマートフォンのデータARPUは高いと考えられ、キャリア・販売代理店双方にとって収益向上のメリットは大きく、スマートフォンの特性やユーザビリティを理解した上で販売を行うことが販売代理店に求められております。

また、多様な新商品群を展示するために、**より広い店舗への移転が不可欠**となり、スタッフも新商品についての際立った説明力が問われると考えております。このため販売代理店には、ハードとしての店舗グレードのUP、優秀な人材の確保、販売現場における意識革命と新たな教育体制が求められます。

顧客増に伴いショップチャネルの重要性が増大

ソフトバンクモバイルの累積回線数は2,200万件を超えており、同社の顧客数が増大する中でキャリアショップチャネルは、CS（顧客満足度）や**ブランドイメージの最前線**となっており、アフターサービス機能を担うショップの役割は、ますます重要なものとなってくると考えられます。

*ARPU（Average Revenue Per User）：加入者1人当たりの月間売上高



※収益性の高い販売網の構築

（1）消費不況の中でのM&A方針

- M&A案件の検討にあたっては、
- ①財務の健全性を維持できる範囲に収める。
- ②やみくもに規模の拡大は追わない。
- ③過去の経験から赤字店舗の引き受けは、従業員の士気にかかわる。（消費不況の中では、むしろ閉店がベスト）
- ④近隣自社店舗との補完関係の強弱をベースに**慎重に厳選する**。以上を大原則といたします。

（2）店舗の移転・改装

不経済なM&Aよりも**店舗の大型化を優先いたします**。デフレ等により飲食店等の空き物件が増加したため既存店舗においては、より好立地な場所への移転や店舗改装等による運営効率の改善に取り組んでまいります。

→2010年2月佐倉白井店、5月柏店、7月成城学園店、服部店、8月河辺店

▶**都心店舗の大型化は、ソフトバンクモバイルのブランドイメージの向上に不可欠であるため、これからも当社は、都心店舗中心に移転改装を実施してまいります。**

（3）新店の収益力強化

2009年にM&A等により、増加した66店舗の収益力の向上に取り組んでまいります。

本年2月から本格的に人事異動を開始したため、直営店舗については、店長クラスの人材を異動させる等、当社の持ち合わせる販売ノウハウを店舗内で共有化し、効率的な販売促進活動を実施することで収益の向上を目指します。

（4）FC店の拡販力強化と拡大

FC店舗に対して、当社の持ち合わせる販売ノウハウ、目標の共有化とソフトバンクモバイルからの情報共有等を実施しました。その結果、FC店運営会社のほとんどは、過去最高益を記録した模様です。今後は、さらにFC店舗のサポート体制を強化してまいります。

※販売の質の向上

（1）提案型販売の確立

新商品・新サービスに迅速に対応し、ソフトバンクモバイルの求める施策を早期に販売現場に徹底させ、提案型の販売によりお客様のニーズを掘り起こすことで、最適なモバイル環境を提供いたします。

（2）お客様のサイドに立った店舗運営（CSの向上）

消費者庁が創設され時代の流れとして、より顧客サイドに立ったサービスが求められるため、顧客視点での店舗運営に全力で取り組む所存です。

（3）業務効率の改善

店舗レイアウト、業務手順、システムの再構築に全社的に取り組み業務効率を高め、お客様の待ち時間を減少させることを目指します。

※人材への投資

（1）不況期は優秀な人材獲得の好機

2010年度の新卒社員は、過去最大の**119名**が4月に入社いたしました。来年度も新卒は65名程度の採用を予定しており、新卒・中途社員問わず優秀な人材の獲得に努めます。

（2）社員教育の充実

教育研修の充実により、高い店舗オペレーションと販売の質を実現してきました。今後も、販売スタッフへの教育研修を拡充いたします。

（3）社内イベントにも工夫

不況の時期だからこそ、900人以上の従業員が一丸となり、明るく前向きに取り組めるよう、社内イベントを工夫し、力を入れる所存です。

※強固な財務基盤の維持

無借金経営を原則としてきましたが、アメリカ発の経済危機を踏まえ、**2008年度末に資金調達とコミットメントライン契約の設定を実施**。

▶28億円規模の資金調達を実施。長期借入金の残高**11.3億円**（2010年6月末）。

▶総額20億円のコミットメントライン契約を締結（3年間）。

現時点では、利用残高ゼロ。

現預金残高は、62億6千9百万円（2010年6月末）。

ネットキャッシュ51億3千2百万円（有利子負債を除外）さらに、未払法人税等の7億5百万円を除外すると、

実質44億2千6百万円を保有。

■ 事業所

本社
東海事務所
関西事務所

東京都千代田区平河町1丁目4番12号
愛知県名古屋市千区名駅5丁目5番22号
大阪府大阪市中央区安土町1丁目7番20号

■ 店舗網 (178店) (2010年8月31日現在)

東海エリア (39店)

愛知県 (13店)
ソフトバンク新瑞
ソフトバンク有松
ソフトバンクイオン扶桑SC ※2010年7月オープン
ソフトバンクイオンモール新瑞橋 ※2010年3月
ソフトバンク池下
ソフトバンク春日井高山
ソフトバンク春日井西
ソフトバンク常滑中央
ソフトバンク中川昭和橋通
ソフトバンク美和
ソフトバンク守山吉根
ソフトバンク八事
ソフトバンク弥富十四山

静岡県 (1店)
ソフトバンク浜松駅新町

三重県 (6店)
ソフトバンク桑名大山田
ソフトバンク菟瀨
ソフトバンク鈴鹿サーキット通り
ソフトバンク鈴鹿ベルシティ
ソフトバンク久居
ソフトバンク田日市生桑

岐阜県 (1店)
ソフトバンク海津

FC店 (18店)
静岡県 (6店)
ソフトバンクイオンタウン磐田
ソフトバンク伊東川奈
ソフトバンク掛川大池
ソフトバンク函南
ソフトバンク静岡湖名
ソフトバンクイオン富士宮SC

岐阜県 (12店)
ソフトバンク蒲部
ソフトバンク揖斐大野
ソフトバンク大垣中央
ソフトバンク大垣西
ソフトバンク岐阜大学前
ソフトバンク北方
ソフトバンク真正
ソフトバンク垂井
ソフトバンク土岐浅野
ソフトバンク長良
ソフトバンク美濃
ソフトバンクロックシティ大垣

関西エリア (27店)

大阪府 (8店)
ソフトバンク江坂西
ソフトバンクJR久宝寺
ソフトバンクJR塚本
ソフトバンクスカイシティ泉南
ソフトバンク西長堀
ソフトバンク寝屋川
ソフトバンク服部
ソフトバンクロックタウン東大阪

兵庫県 (2店)
ソフトバンク板宿
ソフトバンク西宮北口

FC店 (17店)
大阪府 (3店)
ソフトバンク上本町
ソフトバンク長吉長原
ソフトバンク松原

京都府 (3店)
ソフトバンク京都外大前
ソフトバンク五条西小路
ソフトバンク八幡市役所前

兵庫県 (11店)
ソフトバンク芦屋南
ソフトバンクエコール・リラ藤原台
ソフトバンク三田
ソフトバンクJR西ノ宮
ソフトバンク夙川
ソフトバンク新長田
ソフトバンク垂水
ソフトバンク中山寺
ソフトバンク西明石
ソフトバンク西尾陽
ソフトバンク阪神西宮

北陸エリア (2店)

福井県 (1店)
ソフトバンク若杉

FC店 (1店)
福井県 (1店)
ソフトバンク武生東

中国エリア (4店)

岡山県 (1店)
ソフトバンク平井

広島県 (2店)
ソフトバンク五日市城山
ソフトバンク東雲

FC店 (1店)
島根県 (1店)
ソフトバンク出雲駅南

東北エリア (12店)

岩手県 (1店)
ソフトバンク盛岡太田

宮城県 (1店)
ソフトバンク仙台ゆめタウン

FC店 (10店)
秋田県 (3店)
ソフトバンク秋田山王
ソフトバンク土崎港
ソフトバンク横手

山形県 (7店)
ソフトバンク寒河江
ソフトバンク新庄イオンタウン
ソフトバンク天童中央
ソフトバンク長井
ソフトバンク三川
ソフトバンク山形北
ソフトバンク米沢

首都圏エリア (94店)

東京都 (45店)
ソフトバンク赤坂見附
ソフトバンク赤羽
ソフトバンク練馬
ソフトバンク飯田橋
ソフトバンク板橋
ソフトバンク市ヶ谷
ソフトバンク大井町
ソフトバンク大崎ニューシティ
ソフトバンク大森
ソフトバンク荻窪
ソフトバンク河辺
ソフトバンク蒲田東口
ソフトバンク上石神井
ソフトバンク北千住
ソフトバンクグリナード永山
ソフトバンク京王八王子駅前
ソフトバンク小岩
ソフトバンク高円寺
ソフトバンク三軒茶屋茶沢通り
ソフトバンク渋谷益谷坂
ソフトバンク下北沢
ソフトバンク石神井公園
ソフトバンク自由が丘
ソフトバンク北十条
ソフトバンク新宿 ※2010年7月オープン
ソフトバンク新宿東口中央通り
ソフトバンク成城学園
ソフトバンク高島平
ソフトバンク多摩センター
ソフトバンク田町
ソフトバンク千歳島山
ソフトバンク成増
ソフトバンク西八王子
ソフトバンク西八王子
ソフトバンク八王子
ソフトバンク花小金井
ソフトバンク飯泉橋
ソフトバンク浜松町
ソフトバンク東久留米
ソフトバンク光が丘
ソフトバンク府中・分倍原原
ソフトバンク茅ヶ崎駅前
ソフトバンク町田中央
ソフトバンク三鷹東八道路
ソフトバンク明大前
ソフトバンクモリタウン昭島

千葉県 (17店)
ソフトバンク柏
ソフトバンク柏・沼南
ソフトバンク勝田台R16
ソフトバンク鎌ヶ谷
ソフトバンク北小金
ソフトバンク佐倉日井
ソフトバンク津田沼
ソフトバンク習志野成田街道
ソフトバンク野田
ソフトバンク船橋市場通り
ソフトバンク船橋駅前
ソフトバンクプレナ幕張
ソフトバンク南柏
ソフトバンク八千代台
ソフトバンクユアエルム成田
ソフトバンクラパーク千城台
ソフトバンクららぽーと柏の葉

埼玉県 (15店)
ソフトバンク上尾駅前
ソフトバンク朝霞台
ソフトバンク大宮東
ソフトバンク川口
ソフトバンク北浦和
ソフトバンク久喜
ソフトバンク志木
ソフトバンク新所沢
ソフトバンクせんげん台
ソフトバンク所沢中央
ソフトバンク蓮田
ソフトバンク東大宮駅前
ソフトバンク三郷インター
ソフトバンクみずほ台
ソフトバンク南越谷

神奈川県 (10店)
ソフトバンク飯泉橋
ソフトバンク北山田
ソフトバンク相模原R16
ソフトバンク鶴沼
ソフトバンク茅ヶ崎駅前
ソフトバンク綱島
ソフトバンク日吉
ソフトバンク本厚木駅前
ソフトバンク溝の口
ソフトバンク宮前平

栃木県 (1店)
ソフトバンク矢板

FC店 (3店)
東京都 (1店)
ソフトバンク東新宿駅

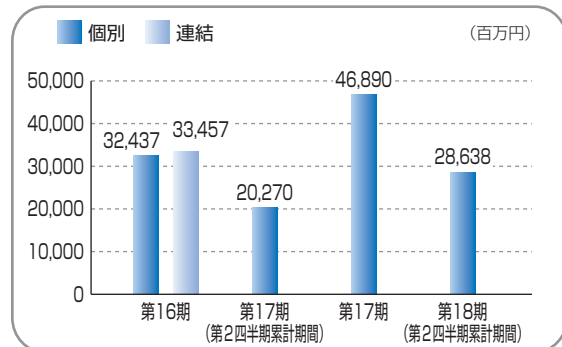
埼玉県 (2店)
ソフトバンク南浦和駅前
ソフトバンク武蔵藤沢

※当事業年度に運営開始した店舗であります。

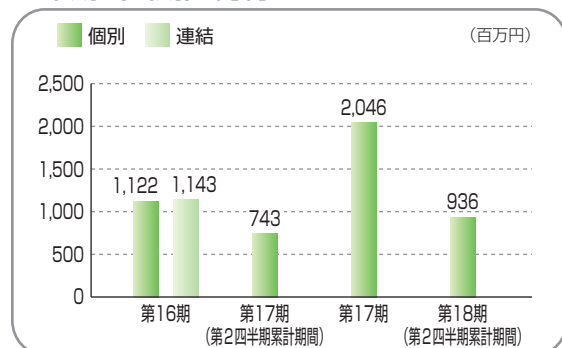
● 財務ハイライト

※第17期より連結財務諸表を作成していません。

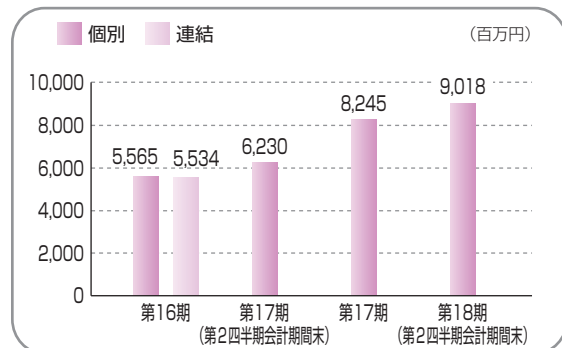
売上高



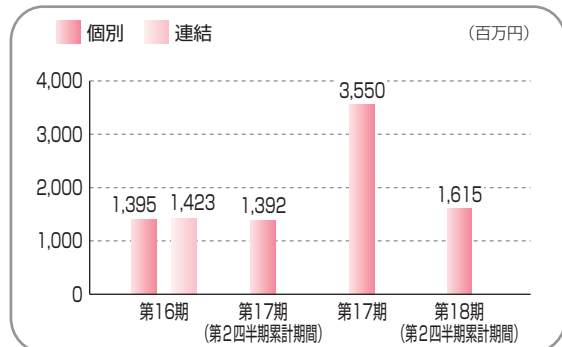
四半期(当期)純利益



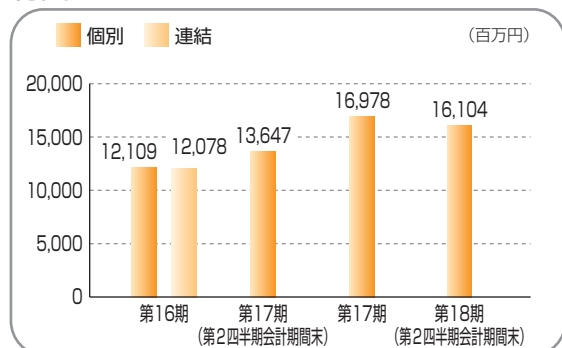
純資産



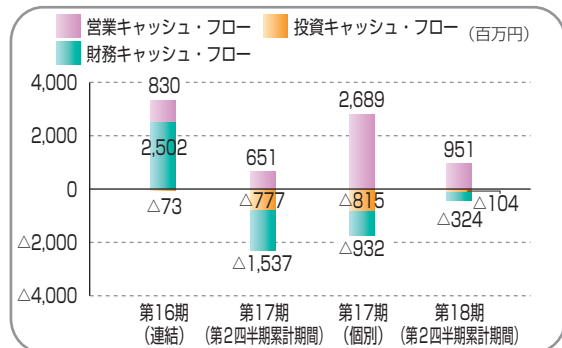
経常利益



総資産



キャッシュ・フロー



(注) 第16期は、連結財務諸表提出会社であったため、連結ベースの数値を記載しております。

● 要約財務諸表

貸借対照表(要旨)

科目	期別	(単位：千円)	
		当第2四半期会計期間末 (2010年6月30日)	前事業年度末に係る要約貸借対照表 (2009年12月31日)
資産の部			
流動資産		13,815,051	14,712,057
固定資産		2,289,228	2,266,228
有形固定資産		648,004	632,146
無形固定資産		240,807	271,600
投資その他の資産		1,400,416	1,362,481
資産合計		16,104,279	16,978,285
負債の部			
流動負債		6,124,196	7,627,837
固定負債		961,444	1,105,212
負債合計		7,085,640	8,733,049
純資産の部			
株主資本		9,018,638	8,245,236
資本金		1,129,413	1,123,904
資本剰余金		1,853,581	1,848,071
利益剰余金		6,035,643	5,273,259
純資産合計		9,018,638	8,245,236
負債純資産合計		16,104,279	16,978,285

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	期別	(単位：千円)	
		当第2四半期累計期間 (自2010年1月1日 至2010年6月30日)	前第2四半期累計期間 (自2009年1月1日 至2009年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		951,569	651,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		△104,476	△777,915
財務活動によるキャッシュ・フロー		△324,813	△1,537,735
現金及び現金同等物の増減額		522,279	△1,664,149
現金及び現金同等物の期首残高		5,747,350	4,806,737
現金及び現金同等物の四半期末残高		6,269,630	3,142,587

損益計算書(要旨)

科目	期別	(単位：千円)	
		当第2四半期累計期間 (自2010年1月1日 至2010年6月30日)	前第2四半期累計期間 (自2009年1月1日 至2009年6月30日)
売上高		28,638,098	20,270,794
売上原価		23,247,486	15,866,257
売上総利益		5,390,611	4,404,536
販売費及び一般管理費		3,774,889	3,001,658
営業利益		1,615,722	1,402,878
営業外収益		16,134	15,509
営業外費用		16,578	26,037
経常利益		1,615,277	1,392,349
特別利益		56,091	1
特別損失		29,487	10,784
税引前四半期純利益		1,641,882	1,381,566
法人税、住民税及び事業税		684,292	652,956
法人税等調整額		21,193	△14,971
四半期純利益		936,396	743,581

要約財務諸表 ポイント

- ▶貸借対照表 ポイント
 - ・総資産は、前事業年度末より874百万円減少いたしました。
 - ・純資産は、四半期純利益936百万円の計上等により、前事業年度末より773百万円増加し9,018百万円となり、90億円台に到達いたしました。
 - ・自己資本比率は56.0%となりました。
- ▶損益計算書 ポイント
 - ・売上高は、前第2四半期累計期間比41.3%増の28,638百万円となりました。
 - ・経常利益は、同16.0%増の1,615百万円となりました。
 - ・四半期純利益は、同25.9%増の936百万円となりました。
- ▶キャッシュ・フロー計算書 ポイント
 - ・営業活動によるキャッシュ・フロー +951百万円
主たる要因は、税引前四半期純利益の計上、売上債権及びた卸資産の減少による収入、並びに仕入債務の減少による支出、法人税等の支払いであります。
 - ・投資活動によるキャッシュ・フロー △104百万円
主たる要因は、関係会社株式の売却による収入、有形固定資産の取得及び敷金の差入による支出であります。
 - ・財務活動によるキャッシュ・フロー △324百万円
主たる要因は、長期借入金返済による支出及び配当金の支払いであります。

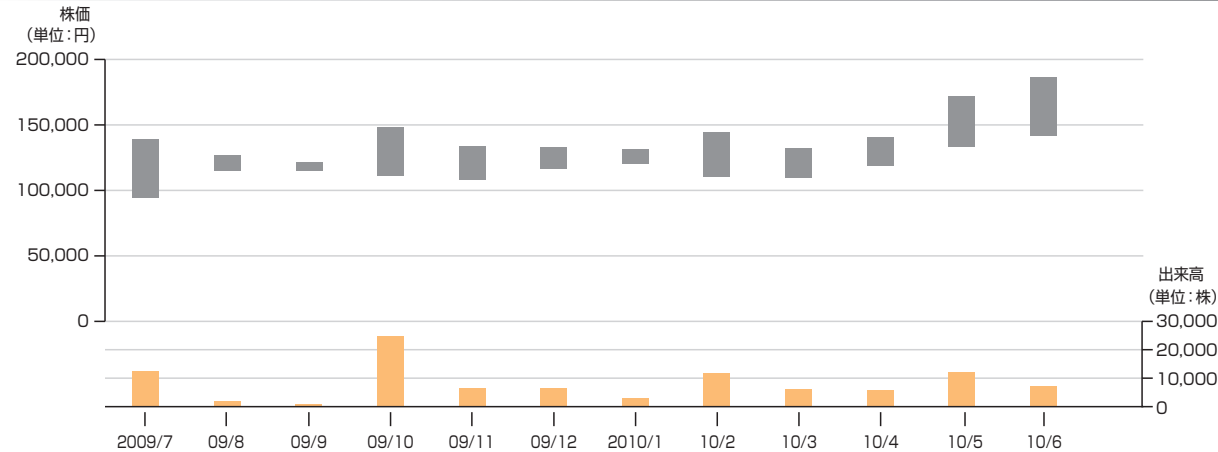
株式の状況 (2010年6月30日現在)

●発行可能株式総数	263,700株
●発行済株式の総数	67,051株
●株主数	3,118名

大株主 (2010年6月30日現在)

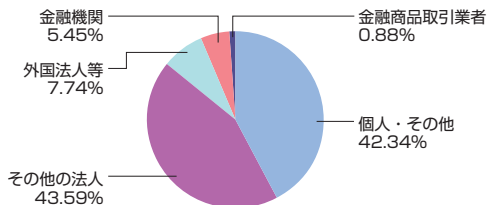
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社日本ビジネス開発	17,550	26.17
西川 猛	15,259	22.76
株式会社光通信	8,809	13.14
ソフトバンクモバイル株式会社	2,385	3.56
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイ ロンドン エスエルオムニバスアカウント	1,287	1.92
日本証券金融株式会社	1,213	1.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,126	1.68
Xロソバンクエヌエー・トレーディングクライアントオムニバス	1,000	1.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	876	1.30
寺井 正晴	696	1.04

株価・株式売買高の推移 (2009年7月～2010年6月)

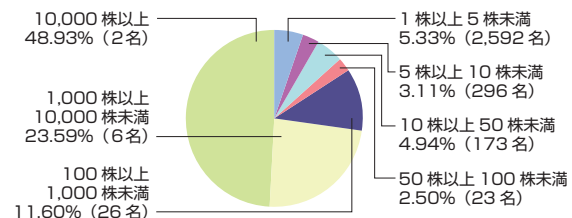


株式分布状況 (2010年6月30日現在)

【所有者別】



【所有株式数別】



会社概要 (2010年6月30日現在)

商号	株式会社ベルパーク
英文表記	Bell-Park Co., Ltd.
証券コード	9441
本店所在地	東京都千代田区平河町一丁目4番12号
設立	1993年2月2日
資本金	11億2,941万3,874円
決算期	毎年12月(年1回)
主な事業内容	電気通信事業法による通信事業者の通信機器販売及び電気通信サービスの加入手続きに関する代理店業務
従業員数	598名

役員構成 (2010年6月30日現在)

代表取締役社長	西川 猛
取締役	竹内 顕
取締役	秋田 芳樹
常勤監査役	久保 憲一
監査役	齋藤 邦雄
監査役	山川 隆久

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日
	そのほか必要があるときはあらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所ジャスダック市場
証券コード	9441
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aspir.co.jp/koukoku/9441/9441.html (ただし、電子公告によることができない事故その他やむをえない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店又は全国各支店でお支払いいたします。